

建築物環境配慮計画書の概要

受付番号 R5-003-①

特定建築主	株式会社ビー・エム・エル 代表取締役社長 近藤 健介	
建築物の名称	BML 総合研究所新棟建設計画 A棟（6期棟）・渡り廊下棟	
建築物の所在地	川越市大字的場字関口 1448 番 7、1451 番 1 （A棟（6期棟）・渡り廊下棟）	
工事種別	新築 A棟（6期棟）・渡り廊下棟	
該当部分の床面積	16,191.21 m ² A棟（6期棟）・渡り廊下棟	
用途区分	研究所	
構造	鉄骨造 一部鉄筋コンクリート造（1階柱頭免震）（A棟（6期棟）・渡り廊下棟）	
高さ	32.1m（A棟（6期棟）・渡り廊下棟）	
階数	地上6階・塔屋1階（A棟（6期棟）・渡り廊下棟）	
工事着手予定年月日	令和5年5月8日	
工事完了予定年月日	令和6年8月31日	
建築物の環境に対する 配慮に係る措置	配慮項目	具体的な配慮内容等
	省エネルギー基準	H28 基準
	外壁、屋根、床の断熱	外壁に金属断熱サンドイッチパネルを使用 屋根に押出法ポリスチレンフォームを使用
	窓の断熱又は日射遮蔽	複層ガラスを採用
	自然エネルギーの直接利用	
	自然エネルギーの変換利用	太陽光発電システムの設置 最大出力合計 171.05kW
	雨水利用等	雨水貯留槽の設置 容量 77.18 m ³
	資源の再利用等	井水利用
	長寿命化	非常用発電機の設置
	緑化	
その他	LED 照明の採用	